

安倍政権の「危険さ」と「もろさ」を見据える

参議院選前に、安倍の支持率が大幅に下がり始めたといってもまた、どんなウルトラを仕組んでくるのでしょうか。長続きしないであろう政権を覚悟の上で暴走し、数々の暴力法案を数の暴力国会で仕上げてしまつつもりだったのでしょうか。

マスコミの情報操作もあるでしょうが、チヨットした刺激的な報道があると世論は敏感に動きがちです。世論は熱しやすく冷めやすいことを、いつも駅前で「反戦アピール」していて痛感します。ここで「改憲は必要」という意見の人と出会って意見を交わすチャンスにしたり、地域の私の友人たちがテレビを見て感じ（私は殆どテレビを見ないので）、そのまた友人と会話を聞いたことを聞いたりますのが世論と接する貴重な場と感じています。

駅頭で出会う「改憲は必要」という人は感情的で、もつと意見を聞こうと思つても激して言うだけが多いのですが、そのとき、違う考えと出会った彼（殆ど彼）は、きつとつろたえているのでしようね。

比較的若い人は割と冷静です。自分はよく勉強したのだというので、何を勉強したのかと問うと、小林よしのりを読んだ程度だったりするのですが、私も同じレベルだと思えば、冷静に会話できたりします。

私が与えられた肝心の課題はパンフレット「安倍政権の『戦う国づくり』を問う！」の紹介です。上記に述べたことに加え、地域で「九条の会」に加わって活動しながら、情動的ではない、冷静な議論の必要を感じ、言い古さ

メディア紹介

派兵チエック編集委員会・編

『安倍政権の「戦う国づくり」を問う！』

古荘斗糸子



れたかも知れないけれど今こそきちんとした 学習 の必要を感じているときに、このパンフレットが作られたことに感謝しています。

パンフの狙いは、安倍政権の「危険な」三本の柱として分析したと、「はじめに」に書かれています。安倍政権の性格 タカ派の本質 軍需産業・戦争国家・戦争社会体制づくりの3本に加えて、アメリカ力の「慰安婦への謝罪決議」問題は安倍政権の「もろさ」の露呈であり、これらの「危険さ」と「もろさ」をしっかりと見据えよう、と呼びかけています。

と、ここまで書いてきて、先ほど 学習 の必要を強弁した真面目で背伸びした私の仮面を棄てて、いつものちゃらんぼらんな 一般市民 の自分に戻つて言う、は、とても興味深く読みました。は、勉強不足の私には難しく何度も読み返しました。

一般市民 は、ことさらに何に敏感かという、いうまでもなく、良くも悪くもお金、そして少し話を広げる人は経済です。このテーマなら会話は長く続きます。

安倍政権と闘い、安倍政権が倒れた後も続く闘いを継続するため、次のパンフレット作成に、テーマ、を中心に、「軍需産業のこと、経済のこと」を、もつとかみ砕いて何度でも取りあげてください。

(ふるしよう としこうちなんちゅの怒りととも

に！三多摩市民の会

* * *

発行：派兵チエック編集委員会 / B5判 / 四〇ページ / 頒価五〇〇円

問い合わせ先：派兵チエック編集委員会 (FAX: 03 32334 4118)